

網走道路整備協組が除雪安全大会

知恵絞り安全作業を

注意事項等あらためて確認

【網走発】網走道路整備事業協同組合（代表理事・笠谷俊一 網走工業（株）社長）は二十日、網走市内オホーツク文化交流センターで除雪業務安全大会を開催した。写真。除雪業務を担う作業員ら約三十人が参加。降雪期を迎える中、地域の安全・安心に向けて、あらためて除雪業務における注意事項や交通安全などについて確認した。

はじめに、笠谷代表理事があいさつ。十月に発生した暴風雨にふれ、「組合員の皆さんには昼夜を問わずパトロール、応急作業をしていただいた」と感謝の意を表し、「今回の災害を踏まえて、さらなる向上を目指してほしい」と強調した。続けて「ここ数年、管内

は局地的大雪に見舞われている。十分な経験を積んできたが、まだまだ対応の可能性がある。それぞれが知恵を絞って、発注者と密に連絡をとり、作業にとりかかってほしい」と求めた。続いて、網走建管事業課の田邊潤一課長があいさつに立ち、「交通安全に十分注意して除雪を行ってほしい。道路利用者の安全はもとより、自身の安全にも注

意をして無理のない作業を心がけてほしい」「油断や慣れによる発生する事故も少なくない。大型車両である除雪車は、ひとたび事故を起こすと大きな被害をもたらす。乗った場合は細心の注意を払ってほしい」「交通規制の対応について、吹雪や吹き溜まりによる交通障害が生じた場合、ただちに連絡をいただき、通行規制の対応をとっていただきたい



い」と要請した。このあと、網走警察署の川口忠義交通課長が交通安全について、網走建管事業課の松山尚基主査が除雪業務等注意事項について講話した。